

# 麻酔学

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Murata H, Hida K, Hara T: Transverse thoracic muscle plane block: Tricks and tips to accomplish the block. *Reg Anesth Pain Med* 41 (3): 411-412, 2016 (IF: 3.459) \*
2. Hayashida S, Funahara M, Sekino M, Yamaguchi N, Kosai K, Yanamoto S, Yanagihara K, Umeda M: The effect of tooth brushing, irrigation, and topical tetracycline administration on the reduction of oral bacteria in mechanically ventilated patients: a preliminary study. *BMC Oral Health* 16 (1): 67, 2016 (IF: 1.210) \*
3. Hayakawa M, Saito S, Uchino S, Yamakawa K, Kudo D, Iizuka Y, Sanui M, Takimoto K, Mayumi T, Azuhata T, Ito F, Yoshihiro S, Hayakawa K, Nakashima T, Ogura T, Noda E, Nakamura Y, Sekine R, Yoshikawa Y, Sekino M, Ueno K, Okuda Y, Watanabe M, Tampo A, Saito N, Kitai Y, Takahashi H, Kobayashi I, Kondo Y, Matsunaga W, Nachi S, Miike T, Takahashi H, Takauji S, Umakoshi K, Todaka T, Kodaira H, Andoh K, Kasai T, Iwashita Y, Arai H, Murata M, Yamane M, Shiga K, Hori N: Characteristics, treatments, and outcomes of severe sepsis of 3195 ICU-treated adult patients throughout Japan during 2011-2013. *Journal of Intensive Care* 4: 44, 2016
4. Sakai T, Murata H, Hara T: A case of scrotal pain associated with genitofemoral nerve injury following cystectomy. *J Clin Anesth* 32: 150-152, 2016 (IF: 1.284) \*
5. Ishii K, Makita T, Yamashita H, Matsunaga S, Akiyama D, Toba K, Hara K, Sumikawa K, Hara T: Total intravenous anesthesia with propofol is associated with a lower rate of postoperative delirium in comparison with sevoflurane anesthesia in elderly patients. *J Clin Anesth* 33: 428-431, 2016 (IF: 1.284) \*
6. Terao Y, Higashijima U, Toyoda T, Ichinomiya T, Fukusaki M, Hara T: The effects of intravenous anesthetics on QT interval during anesthetic induction with sevoflurane. *J Anesth* 30 (6): 929-934, 2016 (IF: 1.343) \*
7. Murata H, Hida K, Hara T: Reply to Dr Del Buono et al. *Reg Anesth Pain Med* 41 (6): 792, 2016 (IF: 3.459) \*
8. Hayakawa M, Kudo D, Saito S, Uchino S, Yamakawa K, Iizuka Y, Sanui M, Takimoto K, Mayumi T, Ono K, Azuhata T, Ito F, Yoshihiro S, Hayakawa K, Nakashima T, Ogura T, Noda E, Nakamura Y, Sekine R, Yoshikawa Y, Sekino M, Ueno K, Okuda Y, Watanabe M, Tampo A, Saito N, Kitai Y, Takahashi H, Kobayashi I, Kondo Y, Matsunaga W, Nachi S, Miike T, Takahashi H, Takauji S, Umakoshi K, Todaka T, Kodaira H, Andoh K, Kasai T, Iwashita Y, Arai H, Murata M, Yamane M, Shiga K, Hori N: Antithrombin supplementation and mortality in sepsis-induced disseminated intravascular coagulation: A multicenter retrospective observational study. *Shock* 46 (6): 623-631, 2016 (IF: 3.048) \*

#### A-e

1. Araki H, Mochizuki N, Harada Y, Fujita S, Nagaoka K, Taniguchi M: Comparison of ventilator modes during video-assisted thoracoscopic esophagectomy with capnothorax in prone position. *Anesthesiology* 125: A2226, 2016
2. Tsuji C, Terao Y, Urabe S, Tominaga S, Fukusaki M, Hara T: Effects of tranexamic acid on perioperative blood loss in the patients undergoing multilevel lumbar spine surgery. *Anesthesiology* 125: A3174, 2016

### B 邦文

#### B-a

1. 境 徹也, 樋田久美子, 原 哲也: 頸肩痛を伴う片頭痛に葛根湯が有効であった1症例. *痛みと漢方* 26: 57-60, 2016
2. 境 徹也: 【おさえておくべき漢方薬による痛み診療の基本】 痛みの漢方治療の実際 腰下肢痛, 膝関節痛, 足関節痛など. *ペインクリニック* 37: 467-476, 2016
3. 境 徹也, 樋田久美子: 【痛み診療における非麻薬性鎮痛薬 update】 痛み診療における三環系抗うつ薬. *ペインクリニック* 37: 573-581, 2016
4. 山口重樹, 境 徹也, 二階堂琢也, 西原真里: 本邦におけるオピオイド治療の展望. *Locomotive Pain Frontier* 2016; 5 (2): 73-81
5. 辻 史子, 福崎 誠, 井上陽香, 石崎泰令, 江頭 崇, 酒井亜輝子, 松本聡治朗, 寺尾嘉彰: 当院における過去 22 年間の自己血輸血 2262 症例の検討. *麻酔* 65 (8): 801-805, 2016
6. 樋田久美子, 村田寛明, 酒井亜輝子, 大神敬子, 前川拓治, 原 哲也: 両側持続胸部傍脊髄ブロックを用いた低侵襲食道がん手術の周術期疼痛管理. *麻酔* 65 (2): 119-124, 2016
7. 玉川隆生, 林 摩耶, 樋田久美子, 米川裕子, 深澤正之, 安部洋一郎: 成人腹部片頭痛を疑い, トリプタン, インドメタシン, パルプロ酸が有効であった1例. *日本ペインクリニック学会誌* 23 (1): 41-44, 2016
8. 石井浩二, 松尾久美, 大野麻紀, 武藤成紀, 森下 暁, 永石恵美, 宗像千恵, 池田津奈子, 中嶋由紀子, 木下裕久,

龍 恵美, 北條美能留, 原 哲也: オキシコドン注射薬により末期心不全患者の呼吸困難を良好にコントロールできた症例. *Palliative Care Research* 11 (2): 529-533, 2016

9. 松本周平, 関野元裕, 猪熊孝実, 松本聡治朗, 東島 潮, 中村利秋, 横田徹次, 原 哲也: ジルチアゼム徐放製剤大量服薬による循環不全の一救命例. *日集中医誌* 23: 411-412, 2016
10. 卜部繁彦, 寺尾嘉彰, 辻 史子, 江頭 崇, 後藤志乃, 福崎 誠: ترامセツト配合錠を過量内服シアセトアミノフェン中毒治療を行った 1 症例. *麻酔* 65 (6): 652-653, 2016
11. 吉富 修, 一ノ宮大雅, 稲富千亜紀, 村田寛明, 前川拓治, 原 哲也: 脳混合血酸素飽和度測定が有用であった予防的腕頭動脈離断術の麻酔管理. *長崎医学会雑誌* 91 (4): 353-356, 2016
12. 吉富 修, 吉崎真依, 岡田恭子, 柴田伊津子, 嬉野浩行, 原 哲也: 心筋スタニングに対する PDEIII 阻害薬ミルリノンの保護作用における p38MAPK の役割. *長崎医学会雑誌* 91 (4): 357-363, 2016
13. 吉富 修, 矢野倫太郎, 井上陽香, 松本聡治朗, 濱田 梢, 東島 潮, 松本周平, 関野元裕, 原 哲也: 両側膿胸を合併した Lemierre 症候群の 1 例. *長崎医学会雑誌* 91 (4): 364-368, 2016

#### B-b

1. 神津 玲, 花田匡利, 及川真人, 名倉弘樹, 俵 祐一, 松本周平, 東島 潮, 関野元裕: 急性呼吸不全に対する呼吸理学療法. *人工呼吸* 33 (1): 40-45, 2016
2. 原 哲也: Minimally invasive cardiac surgery (MICS) の麻酔管理. *臨床麻酔学会誌* 36 (7): 703-707, 2016
3. 原 哲也: 高齢者の合併症を防止する周術期循環管理. *臨床麻酔* 40 (3): 445-454, 2016
4. 境 徹也: 痛みに対するオピオイドと三環系抗うつ薬～推奨の変遷～ (巻頭言). *ペインクリニック* 37: 413-414, 2016

#### B-c

1. 原 哲也: 緊張性気胸. 術中の合併症・偶発症への対応. (横山正尚 (編): 周術期危機管理と合併症への対応, 中山書店, 東京, pp. 144-150 所収) 2016
2. 原 哲也: 術中の心停止にはどのように対応するか. (稲田英一 (編): 麻酔科クリニカルクエスチョン 100, 診断と治療社, 東京, pp. 228-222 所収) 2016
3. 原 哲也: 術中の心筋虚血はどのように診断し, 対応するか. (稲田英一 (編): 麻酔科クリニカルクエスチョン 100, 診断と治療社, 東京, pp. 221-229 所収) 2016
4. 原 哲也: 低侵襲心臓血管手術 (MICS). (稲垣喜三 (編): 最先端外科手術の麻酔管理, 克誠堂出版, 東京, pp. 113-119 所収) 2016
5. 原 哲也: 心血管系合併症. (稲垣喜三 (編): 術前評価と予測因子からみた周術期合併症対策, 克誠堂出版, 東京, pp. 55-68 所収) 2016
6. 原 哲也: 術後患者の全身状態把握. (澄川耕二, 原 哲也 (編): 麻酔・手術後の患者管理, 克誠堂出版, 東京, pp. 7-19 所収) 2016
7. 原 哲也: 麻酔薬と臓器保護作用. (澄川耕二, 岩崎 寛 (監修): 麻酔科学レビュー2016, 総合医学社, 東京, pp. 42-47 所収) 2016
8. 長谷敦子: 応急手当 (first aid) の指針. (岡元和文 (編): 救急・集中治療最新ガイドライン 2016-'17, 総合医学社, 東京, pp. 4-6 所収) 2016
9. 長谷敦子: 上気道の閉塞. (福井次矢, 高木 誠, 小室一成 (編): 今日の治療指針 2016, 医学書院, 東京, pp. 30 所収) 2016
10. 長谷敦子: 麻酔科医と救急医療. (澄川耕二, 岩崎 寛 (監修): 麻酔科学レビュー2016, 総合医学社, 東京, pp. 233-236 所収) 2016
11. 前川拓治: 高齢者. (澄川耕二, 原 哲也 (編): 麻酔・手術後の患者管理, 克誠堂出版, 東京, pp. 309-317 所収) 2016
12. 前川拓治: 肥満患者. (澄川耕二, 原 哲也 (編): 麻酔・手術後の患者管理, 克誠堂出版, 東京, pp. 318-319 所収) 2016
13. 前川拓治: 長時間手術・麻酔後の患者. (澄川耕二, 原 哲也 (編): 麻酔・手術後の患者管理, 克誠堂出版, 東京, pp. 320-321 所収) 2016
14. 境 徹也: 痛みと虚偽性障害. (池本竜則 (編): 慢性疼痛診療ハンドブック, 中外医学社, 東京, pp. 145-156 所収) 2016

15. 境 徹也：複合性局所疼痛症候（CRPS）.（日本疼痛学会痛みの教育コアカリキュラム編集委員会（編）：痛みの集学的診療：痛みの教育コアカリキュラム，真興交易，東京，pp.238-244 所収） 2016
16. 境 徹也：神経障害性疼痛の薬物療法ガイドライン 改訂第 2 版.（日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂版作成ワーキンググループ（編），真興交易医書出版部，東京）2016
17. 村田寛明：術後のホルモン補充療法.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.171-175 所収）2016
18. 村田寛明：末梢神経ブロックにおけるトリプルガイダンス -超音波画像，神経刺激に加えて，注入圧も重要な情報源！-.（森本康裕（編）：LiSA コレクション 超音波ガイド下末梢神経ブロック 第 2 巻 実践 25 症例，メディカル・サイエンス・インターナショナル，東京，pp.37-40 所収）2016
19. 村田寛明：腹腔鏡補助下胃全摘術 -肋骨弓の外側で手術創に妨げられずにブロックを実施-.（森本康裕（編）：LiSA コレクション 超音波ガイド下末梢神経ブロック 第 2 巻 実践 25 症例，メディカル・サイエンス・インターナショナル，東京，pp.189-194 所収）2016
20. 吉富 修：皮膚科・形成外科手術.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.280-284 所収）2016
21. 吉富 修：眼科・耳鼻科・口腔外科手術.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.285-288 所収）2016
22. 則末泰博，関野元裕，片岡 惇，鈴木裕之：CQ6 成人 ARDS 患者において、プロトコール化された人工呼吸器離脱を行うべきか.（3 学会合同 ARDS 診療ガイドライン 2016 作製委員会（編）：ARDS 診療ガイドライン 2016 Part 2，総合医学社，東京，pp.76-85 所収）2016
23. 大下慎一郎，関野元裕，櫻谷正明，宮下亮一：CQ11 成人 ARDS 患者において、好中球エラスターゼ阻害薬を使用すべきか.（3 学会合同 ARDS 診療ガイドライン 2016 作製委員会（編）：ARDS 診療ガイドライン 2016 Part 2，総合医学社，東京，pp.117-122 所収）2016
24. 大下慎一郎，関野元裕，櫻谷正明，宮下亮一：CQ13 成人 ARDS 患者において下記の薬剤を使用すべきか（吸入一酸化窒素，吸入  $\beta 2$  刺激薬，静注  $\beta 2$  刺激薬，顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子（GM-CSF），プロスタグランジン E1，スタチン，サーファクタント，活性化プロテイン C，N-アセチルシステイン，ケトコナゾール，リゾフィン）.（3 学会合同 ARDS 診療ガイドライン 2016 作製委員会（編）：ARDS 診療ガイドライン 2016 Part 2，総合医学社，東京，pp.131-151 所収）2016
25. 東島 潮，関野元裕：消化器（肝・胆・膵・消化管）外科手術.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.255-259 所収）2016
26. 一ノ宮大雅：止血凝固系の管理.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.202-207 所収）2016
27. 一ノ宮大雅：体温管理.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.208-214 所収）2016
28. 石井浩二：その他の抗うつ薬.（日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン作成ワーキンググループ（編）：神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第 2 版，真興交易医書出版部，東京，pp.78-79 所収）2016
29. 石井浩二：NMDA 受容体拮抗薬.（日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン作成ワーキンググループ（編）：神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第 2 版，真興交易医書出版部，東京，pp.84-85 所収）2016
30. 樋田久美子：三環系抗うつ薬.（日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン作成ワーキンググループ（編）：神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第 2 版，真興交易医書出版部，東京，pp.59-62 所収）2016
31. 樋田久美子：ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液.（日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン作成ワーキンググループ（編）：神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第 2 版，真興交易医書出版部，東京，pp.65 所収）2016
32. 樋田久美子：神経障害性疼痛薬物療法で用いる選択薬の種類と使用方法.（日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン作成ワーキンググループ（編）：神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第 2 版，真興交易医書出版部，東京，pp.76-77 所収）2016
33. 松本聡治朗，松本周平，関野元裕：消化器系の管理.（澄川耕二，原 哲也（編）：麻酔・手術後の患者管理，克誠堂出版，東京，pp.133-145 所収）2016

B-e

1. 神津 玲, 森本陽介, 花田匡利, 及川真人, 俵 祐一, 矢野雄大, 名倉弘樹, 松本周平, 東島 潮, 関野元裕: ICU 獲得性筋力低下. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 221, 2016
2. 花田匡利, 森本陽介, 及川真人, 俵 祐一, 矢野雄大, 名倉弘樹, 関野元裕, 松本周平, 東島 潮, 神津 玲: 電気刺激療法: 循環/代謝への影響. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 307, 2016
3. 花田匡利, 及川真人, 名倉弘樹, 関野元裕, 東島 潮, 日高匡章, 曾山明彦, 江口 晋, 神津 玲: 生体肝移植術施行患者における周術期の身体運動機能に関する検討. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 470, 2016
4. 東島 潮, 岡田恭子, 矢野倫太郎, 松本聡治朗, 松本周平, 関野元裕, 原 哲也: 当施設における経皮的心肺補助装置患者 75 名の後方視的検討 ~ 予後予測因子の解析 ~. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 492, 2016
5. 山野修平, 上木智博, 井山慶大, 猪熊孝実, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修: 救命救急センター入院患者における亜鉛欠乏に関する検討. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 507, 2016
6. 岡田恭子, 矢野倫太郎, 松本聡治朗, 東島 潮, 松本周平, 関野元裕, 原 哲也: 硫酸マグネシウムの持続静注により長期人工呼吸管理を回避しえた破傷風患者の一例. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 611, 2016
7. 猪熊孝実, 井山慶大, 上木智博, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修: 大量輸血を必要とした外傷症例における輸血量の検討. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 722, 2016
8. 森本陽介, 小柳 亮, 関野元裕, 神津 玲: 補助人工心臓装着後に重度の骨格筋萎縮を呈して理学療法に難渋した劇症型心筋炎の 1 例. 日本集中治療医学会雑誌 23 Supplement: 837, 2016
9. 猪熊孝実, 井山慶大, 上木智博, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修: 腹部疾患に対する初期診断と初期治療 総合診療医の役割 当院における腹部疾患に対する初期診療医の現状と問題点. 日本腹部救急医学会雑誌 36 (2): 338, 2016
10. 田代美由紀, 猪熊孝実, 井山慶大, 上木智博, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 大野慎一郎, 曾山明彦, 北里 周, 日高匡章, 黒木 保, 江口 晋, 田崎 修: 脾温存脾体尾部切除術 (Warshaw 術) を行った脾損傷 (3b) の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 36 (2): 380, 2016
11. 山下和範, 松園幸雄, 久城正紀, 南島友和, 山根晴一, 渡邊暁洋, 山内延貴, 涌島伴之助: 訓練におけるロジ拠点、ロジステーションでの活動 業務調整員以外のロジ力(りょく)養成を考える. Japanese Journal of Disaster Medicine 20 (3): 497, 2016
12. 水谷和郎, 栗栖 茂, 山下和範, 高松学文: 阪神淡路大震災における病院映像と災害エスノグラフィーの活用 単なる資料に留めないために. Japanese Journal of Disaster Medicine 20 (3): 536, 2016
13. 山下和範, 宮田佳之, 長谷敦子: 発電機からの送電が遅れた落雷の 1 事例. Japanese Journal of Disaster Medicine 20 (3): 546, 2016
14. 猪熊孝実, 井山慶大, 上木智博, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 井上悠介, 曾山明彦, 黒木 保, 三浦 崇, 谷川和好, 江口 晋, 田崎 修: 肝損傷、横隔膜損傷からの出血が流入して心嚢液貯留となった前胸部刺創の 1 例. 日本外傷学会雑誌 30 (2): 241, 2016
15. 龍 恵美, 北條美能留: 緩和ケアにおけるポリファーマシーについて考える 緩和ケアにおけるポリファーマシー薬剤師の視点から. Palliative Care Research 11 Suppl.: S226, 2016
16. 中嶋由紀子, 森下 暁, 永石恵美, 石井浩二, 北條美能留, 芦澤和人: 看護師による「がん患者指導管理料 2」の算定と緩和ケアの提供 がん患者家族の苦痛緩和を目指して. Palliative Care Research 11 Suppl.: S229, 2016
17. 石井 瞬, 夏迫歩美, 福島卓矢, 北條美能留, 石井浩二, 中嶋由紀子, 永石恵美, 森下 暁, 龍 恵美, 芦澤和人, 中野治郎: 不安・抑うつのあるがん患者に対するリハビリテーションと緩和ケアチーム同時介入の効果. Palliative Care Research 11 Suppl.: S291, 2016
18. 石井浩二, 森下 暁, 永石恵美, 宗像千恵, 松尾久美, 池田津奈子, 中嶋由紀子, 龍 恵美, 木下裕久, 北條美能留, 原 哲也: 悪性腸腰筋症候群における病変部位による鎮痛薬必要量の違い. Palliative Care Research 11 Suppl.: S330, 2016
19. 宮永 圭, 石井浩二, 龍 恵美, 永石恵美, 岸川礼子, 橋詰淳哉, 中村忠博, 原 哲也, 北條美能留, 佐々木 均: メサドンとアプレピタントの併用で QT 延長を認めた 1 例. Palliative Care Research 11 Suppl.: S388, 2016
20. 山下裕美, 貫間知美, 森下 暁, 永石恵美, 中嶋由紀子, 石井 瞬, 龍 恵美, 木下裕久, 石井浩二, 北條美能留, 朝比奈 泉: 緩和ケアセンターにおける歯科領域の問題点と今後の課題. Palliative Care Research 11 Suppl.: S486, 2016
21. 境 徹也: ペインクリニックの過剰な優しさ ~ 疼痛行動への対応 ~. 日本ペインクリニック学会誌 23 (3): 336, 2016

22. 松島加代子, 渡邊 毅, 古賀智裕, 小畑陽子, 宮本俊之, 長谷敦子, 濱田久之: 長崎大学病院における研修医メンター制度の5年間報告. 医学教育 47 Suppl.: 125, 2016
23. 松島加代子, 渡邊 毅, 古賀智裕, 小畑陽子, 増崎雅子, 川口 哲, 宮本俊之, 長谷敦子, 濱田久之: 長崎大学病院における漢方教育に対する研修医ニーズの検討. 医学教育 47 Suppl.: 135, 2016
24. 古賀智裕, 濱田久之, 小畑陽子, 松島加代子, 長谷敦子, 神白麻衣子, 宮本俊之, 渡邊 毅: 指導医講習会における指導医に対する OSTE による評価の妥当性に関する解析. 医学教育 47 Suppl.: 175, 2016
25. 長谷敦子, 小畑陽子, 松島加代子, 花井寿々子, 濱田久之: 指導医評価アンケートのコメントからみた、研修医の求める地域基盤型救急医療教育. 医学教育 47 Suppl.: 183, 2016
26. 小畑陽子, 濱田久之, 古賀智裕, 渡邊 毅, 松島加代子, 宮本俊之, 長谷敦子: 彼らは新・専門医制度に何を望んでいるのか?. 医学教育 47 Suppl.: 198, 2016
27. 井上陽香, 一ノ宮大雅, 石崎泰令, 柴田伊津子, 吉富 修, 原 哲也: 体外式左心補助人工心臓装着術と同時に開腹胆嚢摘出術を施行した1例. Cardiovascular Anesthesia 20 Suppl.: 295, 2016
28. 猪熊孝実, 上木智博, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修: 当院における現場から直接搬送された症例に対する acute care surgery のあり方. Japanese Journal of Acute Care Surgery 6 (2): 194, 2016
29. 村田寛明: 超音波ガイド下神経ブロックの効率の習得法. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S155, 2016
30. 荒木 寛, 西岡健治, 荒木博子, 趙 成三, 原 哲也, 澄川耕二: 声門マーカーを指標とした気管チューブ固定の問題点. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S165, 2016
31. 境 徹也: 慢性痛における強オピオイド鎮痛薬の効果と精神依存 ～当科におけるフェンタニル貼付剤の使用経験～. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S215, 2016
32. 村田寛明: 区域麻酔領域の最新臨床研究から考える次世代の周術期疼痛管理. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S224, 2016
33. 井上菜穂子, 金子翔平, 島崎綾子, 鈴木未来, 横山明弘, 河西佑介, 一ノ宮大雅, 原 哲也: 心臓手術において麻酔導入法が循環変動に与える影響に関する後方視的検討. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S281, 2016
34. 吉崎真依, 寺島 歩, 一ノ宮大雅, 村田寛明, 前川拓治, 原 哲也: 術中アセトアミノフェン投与が腹腔鏡下部消化管手術後のシバリング発生率に与える影響の検討. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S288, 2016
35. 山下春奈, 一ノ宮大雅, 岩崎直也, 田中達士, 横山明弘, 原 哲也: 修正型電気痙攣療法における痙攣誘発困難に対しレミフェンタニルによる誘発閾値の低下が有用であった1症例. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S304, 2016
36. 鈴木未来, 吉田 操, 一ノ宮大雅, 井上菜穂子, 岩崎直也, 寺島 歩, 田中達士, 原 哲也: 下部食道癌切除術中にショックを呈した一例. 日本臨床麻酔学会誌 36(6): S353, 2016
37. 樋田久美子, 境 徹也, 原 哲也: 手指関節腫脹と痛みのために当科紹介となり成人発症 Still 病の診断に至った一例. 日本臨床麻酔学会誌 36 (6): S385, 2016
38. 山下和範, 田崎 修, 長谷敦子, 原 哲也: 当院における災害医療従事者を増やす取組 –新入職者対象災害医療セミナーを振り返って–. 蘇生 35 (3): 197, 2016
39. 原 哲也, 山下和範, 長谷敦子: 上大静脈損傷による出血性ショックから後遺症なく回復した胸腔鏡下肺切除術の一例. 蘇生 35 (3): 205, 2016

**研究業績集計表**

教室等名 : 316 麻酔学

**論文数一覧**

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2016	8	0	0	0	2	10	7	13	4	33	0	39	89	99

**学会発表数一覧**

	A-a	A-b		合計		B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会				シンポジウム	学会		
2016	0	0	3	3		1	15	55	71	74

**論文総数に係る教員生産係数一覧**

	<u>欧文論文総数</u> 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)		<u>SCI掲載論文数</u> 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
2016	0.101	0.667		0.7	0.467

**Impact factor 値一覧**

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2016	15.087	1.006	2.155